



① 発熱 (38度以上)

問い合わせ
電話相談
#8000

発熱 (38度以上)

3ヶ月未満

3ヶ月～6歳

次の症状はみられますか？

- 元気がなく、ぐったりしている。
- おしっこが出ない。
- 活気がない。
- よく眠れずに、ウトウトしている。
- 水分をとるのをいやがる。

症状がみられたものを「はい」とした場合…

「はい」が

1つ以上

なし

救急医療機関を受診してください。

様子をみながら
診療時間になるのを待って
お子さんを病院へ
つれて行くとよいでしょう。

ただし症状が大きく変わったら救急医療機関を受診してください。

お薬を与えるときの注意点

- 解熱薬には、アスピリン、ポンタール、ボルタレンは使わないでください。

発熱のある時の対処法

- 熱の出始めは温かめに、熱が出きったら涼しくしてあげましょう。
- 暑そうなら涼しく、寒そうなら温かくしてあげましょう。
- 水分補給をこまめにしましょう。
- 気持ちよさそうなら、冷やしてあげましょう。
- 着替えもこまめにしましょう。
- 熱があっても元気そうなら、解熱剤は使わないようにしましょう。



② けいれん・ふるえ

問い合わせ
電話相談
#8000

けいれん・ふるえ

次のうちの症状がみられますか？

- けいれんが止まっても、意識がもどらない。
- くちびるの色が紫色で、呼吸が弱い。

- けいれんが5分以上続く。
- 生まれて初めてのけいれんである。
- 生後6ヵ月未満(あるいは、6歳以上)。
- けいれん時の体温が38度以下だった。
- けいれんに左右差がある。
- 嘔吐、失禁をとまとう。
- 最近頭を激しくぶつけた。
- 何度も、繰り返しけいれんがおこる。

- すでに診断がついており、今までに何度かおこったことがあるけいれん発作(てんかん)。
- けいれんか、どうか分からない。

この欄に1つ以上「はい」がある

救急車を呼びましょう

左の欄に「はい」はなく、この欄に「はい」がある

救急医療機関を受診してください。

この欄にしか「はい」がない

様子をみながら
診療時間になるのを待って
お子さんを病院へ
つれて行くとよいでしょう。

ただし症状が大きく変わったら救急医療機関を受診してください。

けいれん・ひきつけの応急処置ポイント

- 顔を横向けにして、衣類をゆるめましょう。
- 体を揺すったり、たたいたりしないようにしましょう。
- 口に割り箸や指を入れてはいけません。

けいれん・ひきつけの観察ポイント

- いつからどんなけいれんが、何分間つづいたか？
- けいれんが、右半身、左半身だけのような左右差がないか？
- その時の体温は何度であったか？